

これまでもこれからも 三六は私たちの自慢のまち

～70年続く、みんなで支えあう地域づくり この歴史を子ども達につなぐために～



2023年～2027年

住民発! 三六地区 小地域福祉活動(ふくしプラン) 第一次計画



戸畑区 三六地区社会福祉協議会

ごあいさつ

これまでもこれからも 三六は私たちの自慢のまち

～70年続く、みんなで支えあう地域づくり この歴史を子ども達につなぐために～

住民発!三六地区 小地域福祉活動(ふくしプラン)第一次計画策定にあたり

戸畑区三六地区は戸畑区の北側に位置し、国道199号線と、令和3年に全面4車線化した都市計画道路日明渡船場線に挟まれた平地で、バス停やJR九州工大前駅、都市高速戸畑インターも近く、交通の便が大変良い地域です。

子ども山笠の山車を持つ三六地区では、伝統ある戸畑祇園を次世代に継承していくための活動や、納涼祭やどんど焼きなどの季節行事を通じて、ふれあいの輪も広がっています。また子ども講座では、毎年年末にイルミネーションを三六市民センターに飾り付け、地域を温かい灯で包む取り組みをしています。

三六地区社会福祉協議会はこれらすべての行事に積極的にかかわり、地域全体で地域をつくっていく役割の一役を担っています。子育てを支援する「すくすく三六のつどい」、高齢者を中心にした「いきいき三六健康サロン」、男性中心の「そば打ち教室」など集いの場を設け、毎週木曜はサロンの日として、木曜日に市民センターに行けば誰かに会える、相談できる日として地域の声を聴ける活動を行っています。市民センター文化祭のひとこまを、地域高齢者を招待したふれあい敬老会として位置づけ、また桜の頃にはお花見会を開催して、季節感を取りこんだふれあいの場をつくっています。

北九州市の地域福祉計画及び北九州市社会福祉協議会の地域福祉活動第六次計画と整合性を持ちながら、小地域福祉活動第一次計画策定に取り組みました。小地域での中長期の活動計画を策定し、取り組みを進めてまいります。

おわりに、この計画の策定にあたりご尽力いただきました本計画策定委員会委員並びに、ともに課題を共有し、課題解決に向けご賛同いただいた地域団体の皆様に、心より感謝申し上げます、ご挨拶といたします。

令和5年3月

三六地区社会福祉協議会 会長

三六地区小地域福祉活動計画策定委員会 委員長

松 尾 定 俊



これまでもこれからも 三六は私たちの自慢のまち

～70年続く、みんなで支えあう地域づくり この歴史を子ども達につなぐために～

住民発!三六地区小地域福祉活動第一次計画(2023年～2027年)

目 次

ごあいさつ

第1章 計画策定にあたって		1
1 計画の特性		
2 計画の期間		
3 計画の策定経過		
第2章 三六地区の現状と取り組み		2
1 三六地区の特徴		
第3章 第一次計画の体系		3
1 基本理念		
2 基本目標		
3 実施項目(体系図)		
4 重点実施項目		
第4章 計画の推進		7
1 計画の承認と周知		
2 計画を推進するための体制		
3 第二次計画の策定		
4 小地域福祉活動第一次計画策定にあたり連携や協力をいただいた団体名簿		
5 小地域福祉活動第一次計画推進委員会(策定委員会)名簿		



第1章 計画策定にあたって



1 計画の特性

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、三六地区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、三六地区に住む人たちの「安全・安心な生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 三六地区社協の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

第一次計画は、2023年から2027年までの5ヵ年とします。

ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

第一次計画策定委員会や、三六地区で地域福祉活動に取り組む関係機関・団体からの幅広い意見などを踏まえて、住民主体の地域福祉に関する計画を策定するため、小地域福祉活動第一次計画策定委員会を設置しました。



第2章

三六地区の現状と取り組み



I 三六地区の特徴

(1) 地域の特徴

三六地区は、昭和 28 年に区内最初の公民館が開館するなど、社会教育や社会福祉に熱い思いを持った地域として知られています。

中でも三六婦人会の公害防止の運動は広く知られるところで、子を思う母親の強い思いが起こしたこの活動の精神は、いまでも地域を思う温かくやさしい住民へ強く引き継がれています。三六市民センターの桜に象徴されるように、三六地区が築いてきた歴史がこの地域に力と笑顔を支えています。

校 (地) 区	社協名	三六 校(地)区社会福祉協議会		人 口	6,768 人	活動 範囲	千防2丁目18番の一部・千防3丁目3～4、12～17・三六町・天神2丁目(10・11番の一部)沢見2丁目5・7番・中原4丁目・小芝2丁目(9・10番の一部)小芝3丁目
	設立年月	昭和43年7月17日		世帯数	3,648 世帯		小学校
	ふりがな	まっお さだとし			中学校	飛幡中学校	
	代表者	会 長 松尾 定俊		高齢化率	32.8 %	地域包括支援センター	戸畑1
連絡先		住 所	〒804-0081 戸畑区千防3丁目3-28			電 話	871-2198
主たる活動拠点	名 称	三六市民センター			電 話	881-0958	
	住 所	〒804-0092 戸畑区小芝3丁目12-2			FAX	881-0958	
サ ロ ン 活 動 状 況	サロン名			活動場所		開催頻度	
	いきいき三六			三六市民センター		毎週木曜	
	すくすく三六			三六市民センター		第1水曜	
	あやめそば打ちサロン			三六市民センター		第3土曜	

(令和4年4月 ふれあいネットワーク活動推進事業計画書より)



第3章 第一次計画の体系



1 基本理念

これまでもこれからも 三六は私たちの自慢のまち

～70年続く、みんなで支えあう地域づくり この歴史を子ども達につなぐために～

三六地区では、子どもから高齢者まで、また、障害のあるなしに関わらず、誰もが住みなれた所で安全に安心して暮らしていけるまちにしたいと願っています。

地域の特性を踏まえ、住民の皆さんの理解と参画を得ながら、地域団体や関係機関との連携のもと、「これまでもこれからも 三六は私たちの自慢のまち」を基本理念として、小地域福祉活動第一次計画を推進していきます。

2 基本目標

(1) 基本目標1 「安全安心なまち」

交通や買い物など日常生活での困りごとは少ない利便性のよい地域です。この利点を更に「ずっと住みたいまち」として活かしながら、さらに関係機関と連携した安全安心なまちのための活動を推進します。

(2) 基本目標2 「やさしさあふれる交流」

公害を克服した母の強い精神がいまでもこの地には脈々と流れています。自分のために、そしてその先の誰かのためにとの行動は笑顔に包まれています。人とのふれあいを大切にした活動の充実と継続を目指します。

(3) 基本目標3 「笑顔でつながる人の輪」

人とのふれあいの大切さを理解した活動者が、自主的にサロンを運営するほど、意識の高い地域です。「毎週木曜日に三六市民センターに行けば誰かに会える」わかりやすいサロンの開設にも取り組みました。その輪を広げていき、より一層の充実を図るために、興味を持てる講座の開催など参加しやすい企画を積極的に行っていきます。

(4) 基本目標4 「伝統が育む絆」

子ども山笠の伝統は地域をひとつにします。この伝統を後世に引き継いでいける体制を整えていく事を重要な取り組みとし、どんど焼きや納涼の夕べなどを通じて、未来を担う子どもたちへの育みにも力を入れていきます。

3 実施項目（体系図）

基本理念

これまでもこれからも
三六は私たちの自慢のまち

基本目標1【安全安心なまち】

- まちづくり協議会との連携
 - ・みんなで見守りの意識
 - ・夜間パトロールへの参画
 - ・合同会議の開催（連絡調整会議）

基本目標2【やさしさあふれる交流】

- みんなが参加できる企画の運営
 - ・お花見会
 - ・ふれあい敬老会
- 地域行事への積極的参画
 - ・ふれあい昼食会
 - ・納涼のタベ
 - ・文化祭

基本目標3【笑顔でつながる人の輪】

重点実施項目1

- 多彩なサロン活動の実施
 - ・すくすく三六のつどい（子育て）
 - ・いきいき三六健康サロン（高齢者）
 - ・そば打ち教室（男性）
- 健康づくり事業への支援
 - ・ニュースポーツ
 - ・ウォーキング

基本目標4【伝統が育む絆】

重点実施項目2

- 子ども山笠の継承
 - ・後継者育成
 - ・地域活動者の発掘
- どんど焼き
 - ・多世代交流で顔の見える関係づくり

4 重点実施項目

重点実施項目Ⅰ 多彩なサロン活動の実施

選定した理由

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じて活動を継続してきたが、新規参加者が増えない。地域住民の意識や体力低下も気になる。

第一次計画での活動方針

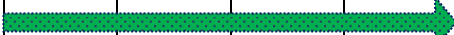
活動者の意識は高く、定着した活動はできている。活動者のモチベーションを保ちつつ、スパイスを効かせた内容を新たに企画し、新たに関心を持ってもらう人を増やす取り組みを目指す。広報活動にも力を入れる。

5年後の達成目標

サロン参加者同士で、地域や市民センターの行事に声掛けあって、共に参加できるような気軽な関係づくりを目指す。困りごとや悩みの相談にも対応できる仕組みをつくる。

【重点実施項目における段階的な取り組みの年次計画】

実施  見直し 

	主な取り組み内容	2023	2024	2025	2026	2027
①	すくすく三六のつどい(子育て)					
②	いきいき三六健康サロン(高齢者)					
③	そばうち教室(男性)					

重点実施項目2 子ども山笠の継承

選定した理由

コロナ禍で例年と同じ形での活動はできなかったが、地域住民の子ども山笠への思いは変わらずに強いことが確認できた。伝統ある活動の継承へ気持ちを新たにしたい。

第一次計画での活動方針

伝統継承の風土づくりをさらに強めていくためにも、参加者とその家族への支援を行う。山笠のみならず地域行事への参加も促し、活動者確保にもつなげたい。

5年後の達成目標

多世代にとってやさしいまちづくりを目指す。そのためにも一人でも多くの顔の見える関係構築につとめ、地域行事の充実と発展を強いものにしていく。

【重点実施項目における段階的な取り組みの年次計画】

実施  見直し 

	主な取り組み内容	2023	2024	2025	2026	2027
①	後継者育成					
②	地域活動者の発掘					

第4章 計画の推進

1 計画の承認と周知

- (1) 三六地区社会福祉協議会の連絡調整会議等を通じ、計画の承認と周知を行います。
- (2) 計画の実施項目を進めていくため、関係機関・団体への周知・協力依頼を行います。
- (3) 計画書概要版の配布やホームページ「三十六地区社協」への掲載、市民センター館報などで地域住民への周知を行います。その他、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動第一次計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、三十六地区小地域福祉活動第一次計画推進委員会（以下、「推進委員会」という。）を設置し、計画の進行管理を行います

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

などについて、推進委員会では協議を進めていきます。



(2) 計画の進行管理（推進委員会の開催）

推進委員会を適宜開催し、次の点について確認します。

- ① 事業推進の計画・実行
- ② 事業推進の進捗状況

(3) 計画の評価

計画の中間年では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間に、新たに第二次計画策定委員会を設置し、次期計画策定に向けての協議を進めていきます。

4 小地域福祉活動第一次計画策定にあたり連携や協力をいただいた団体名簿

No.	企業・会社名
1	就労継続支援B型事務所 はあとねっと戸畑（社会福祉法人あかつき会）
2	社会福祉法人あかつき会キッチンサンライズ
3	社会福祉法人いわき福社会 さんろくこどもえん
4	湯川整骨院・鍼灸院
5	のりさだ整骨院
6	戸畑警察署 三六交番
7	スピナ戸畑店
8	セブンイレブン戸畑千防3丁目店
9	セブンイレブン戸畑中原西一丁目店
10	合同会社「GOYO」
11	三六地区まちづくり協議会
12	三六地区自治協議会
13	三六長寿会
14	三六地区民生委員児童委員協議会
15	三六市民センター
16	戸畑区役所 保健福祉課
17	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所

5 小地域福祉活動第一次計画推進委員会（策定委員会）名簿

No.	氏 名	所属団体・役職など
1	松尾 定俊	三六地区社会福祉協議会 会長 三六地区民生委員児童委員協議会 会長 三六地区まちづくり協議会 副会長 三六地区小地域福祉活動計画策定委員会 委員長
2	井手 國昭	三六地区まちづくり協議会 会長
3	長尾 昭彦	三六まちづくり協議会 副会長
4	山 孝子	福祉協力員
5	林 恵美子	福祉協力員
6	磯部 典子	福祉協力員
7	古野 タキ子	福祉協力員
8	緒方 三代子	福祉協力員
9	梶川 光子	福祉協力員
10	平尾 敏和	福祉協力員
11	大貝 るい子	福祉協力員
12	江崎 輝子	福祉協力員
13	佐野 佐恵子	福祉協力員
14	横尾 ノブエ	福祉協力員
15	高石 龍之助	福祉協力員
16	牟田園 了	民生委員・児童委員
17	松原 恵子	福祉協力員
18	小早川 寿子	福祉協力員
19	古海 千枝子	福祉協力員

20	麻川 洋子	福祉協力員
21	当麻 紀代子	福祉協力員
22	柴田 久子	民生委員・児童委員
23	三郎丸 優子	福祉協力員
24	山中 正子	福祉協力員
25	後藤 美恵子	民生委員・児童委員
26	豊沢 順子	福祉協力員
27	檜崎 光子	福祉協力員
28	永野 典子	福祉協力員
29	三澤 陽子	福祉協力員
30	野中 正子	民生委員・児童委員
31	疋田 美津子	福祉協力員
32	杉下 宮子	福祉協力員
33	弓削 絵美	福祉協力員
34	今泉 久仁子	福祉協力員
35	井上 直美	福祉協力員
36	近田 恵子	民生委員・児童委員
37	堀川 芳子	福祉協力員
38	寺井 幸子	福祉協力員
39	百村 智恵子	福祉協力員
40	井手 由美子	福祉協力員
41	佐藤 一英	福祉協力員
42	篠崎 英巳	福祉協力員 少年補導委員

43	白潟 勝信	福祉協力員 第二協議会会長
44	吉水 正浩	福祉協力員 スポーツ推進員
45	松永 秀和	福祉協力員 青少年育成会
46	阿部 貴代乃	主任児童委員
47	梅根 栄子	福祉協力員
48	中島 博幸	福祉協力員 防犯協会
49	木村 久江	民生委員・児童委員
50	森谷 康弘	主任児童委員
51	佐野 哉夫	保護司
52	大庭 ふみの	三六市民センター 館長
53	縄手 富美	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所 職員



三六地区社会福祉協議会

〒804-0081

北九州市戸畑区小芝三丁目12番2号

三六市民センター内 TEL・FAX(093)881-0958

三六地区社会福祉協議会 HP

三六社協

検索

★社会福祉協議会のイメージキャラクター★

『プチボザウルス』(Petit vosaurus)



Petit (プチ:ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス=恐竜)

「ちっちゃなボランティア活動を行う愛くるしい恐竜」をイメージ!

戸畑区社会福祉協議会

〒804-8510 北九州市戸畑区千防1丁目1-1 戸畑区役所3階

TEL 093-871-3259 FAX 093-881-8557

ホームページ <http://www.kitaq-shakyo.or.jp/tobata/>

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた8階

(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

ホームページ <http://www.kitaq-shakyo.or.jp/>